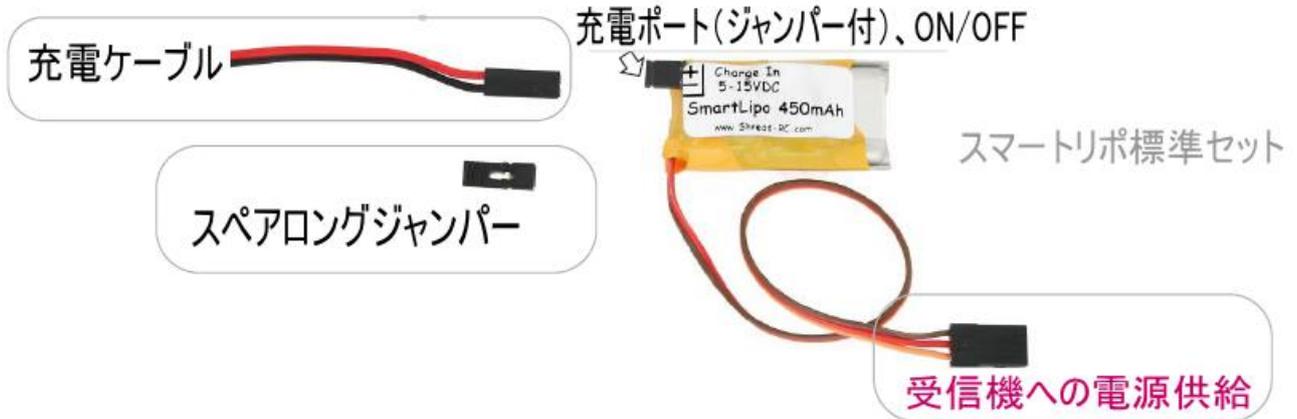


Shread-RC

SHREAD-RC® Smart LiPo ファストガイド (詳しい取り扱いについては別紙取扱説明書ご参照ください)

Vladimir's モデルオリジナル DLG 用リポバッテリー「スマートリポ」

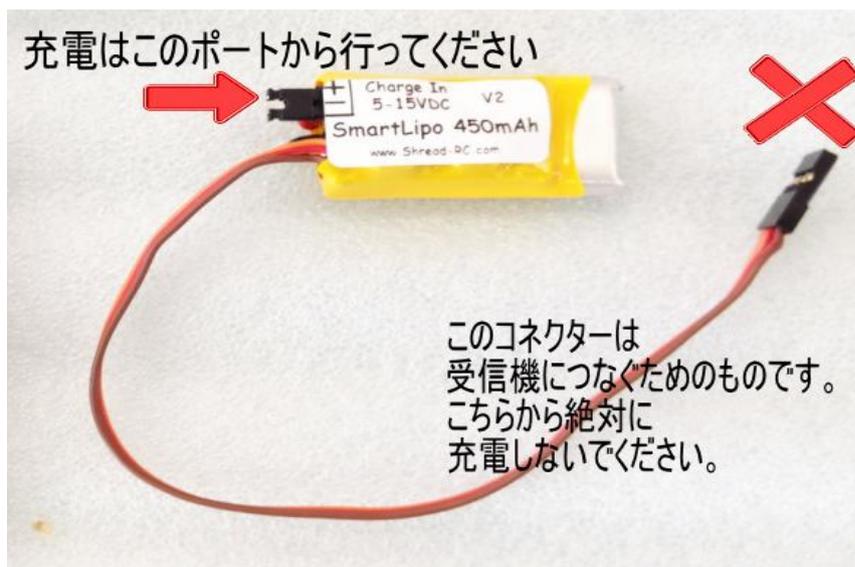
セット内容: スマートリポ本体、充電ケーブル、スペアジャンパー



スマートリポの特徴 :昇圧回路、残量ブザー、5~15V 直流から簡単充電、LED ライト(Ver.2 以降)、on/off スイッチ搭載、逆接保護回路、過充電オートカット、過放電オートカット

使い方:

- **残量確認:** 充電ポートからジャンパーを引き抜きます。ブザー音が 6~7 回なったら、充電されているのでそのままお使いください。ブザー音が 5 回以下(鳴らない場合も含む)の場合は、充電してください。
※Ver.1 のスマートリポは、残量を知らせるブザー音の後に、短い「ピッピッ」音が聞こえます。
0 回のピープでは、残量が 3.5V、6~7 回のピープでは残量が 4.2V(満タン)の意味です。3.5V 以上で 0.1V ごとに 1 回のピープが増えます。たとえば、3 回のピープは、 $3.5V + 0.1 \times 3 = 3.8V$ の残量を示します。
- **充電方法:**



- スマートリポを充電するには、充電ポートを DC 電流(直流)5~15V 間の電圧の充電元につなげるだけでよいです。例えば他のリポ電池や携帯用アダプター、コンピューター用 USB コネクタ又は車用 12V バッテリーなどです。充電は自動で行われます。

注意！直接 5～15V の電源以外の方法 (通常のリポ用充電器等) で絶対に充電しないでください。

故障の原因となります。

- 出力が 5V 丁度の充電元 (他のバッテリー等) のご使用をお勧めしていません (充電が開始すると、充電元の電圧が 5V 以下まで下がり、スマートリポへの充電が完了しない可能性があるためです)。
- 充電中はクリック音が聞こえます。
- Ver.1 のスマートリポや一部の Ver.2 のスマートリポでは充電の終了を示す音が備わっていません (フル充電になってもクリック音が聞こえます)。ただし、スマートリポではオーバー充電からバッテリーを守る回路が備わっているため充電が自動的に止まります。目安として **1 時間 30 分** 充電してください。

充電の一例 850mAh 7.4V(2 セル)のリポバッテリーから。こちらのコネクタはスマートリポの充電ポートと同じ形をしているので、スマートリポ付属の充電ケーブルが不要です。

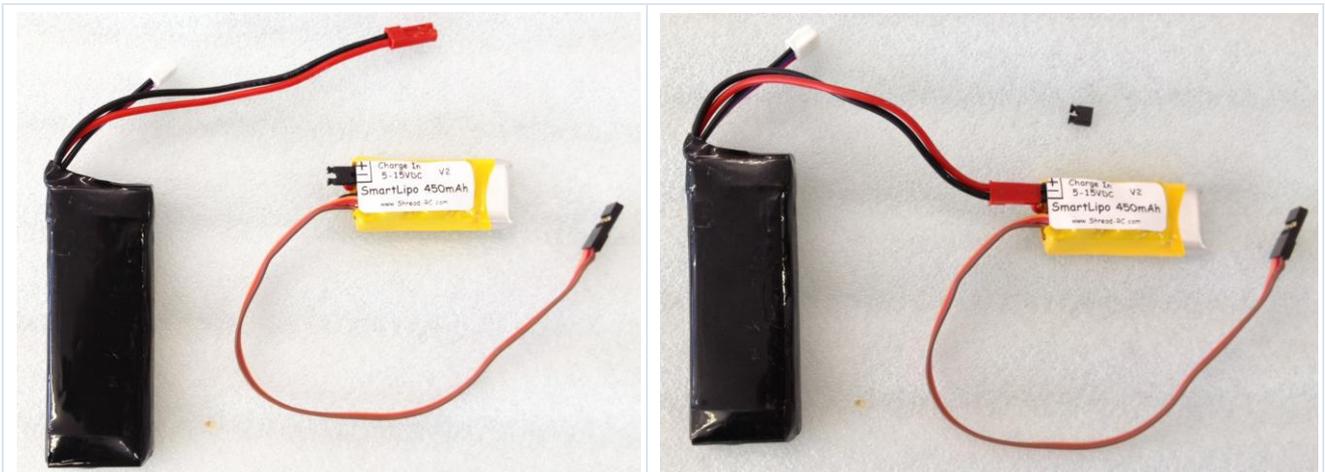


写真: あらかじめ充電されている充電元のバッテリーと充電先のスマートリポ

スマートリポの充電ポートのジャンパーを引き抜いて充電元のバッテリーをつなげた状態。クリック音が聞こえます。

充電中、次のことにご注意ください (すべてのリポバッテリーに通じる注意事項です)。

- 充電元と充電先のスマートリポバッテリーを絶対に燃えやすい物の上に乗せたり、燃えやすい物の近くに置いたりしないでください。万が一火事や事故につながる可能性があります。
- 充電の開始から終了までバッテリーから目を離さないでください。異常事態が発生するとバッテリーから煙や火が出る可能性があります。万が一に備えて消火対策をしてください。

● フライト中に:

スマートリポは ON (ジャンパーを引き抜いた状態) になると、残量電圧を知らせた後に定期的に (大よそ 8 秒ごとに) ビープ音を発信します。これは、受信機への電源供給を付けたままラジコン飛行機をフライトの後しまったり、放置したりしないための対策処置です。スマートリポの電圧が 3.5V 以下に下がってしまうと、ビープ音も「ピ・ポ・ピ」というトリル音に変わります。さらに、スマートリポの電圧が 3 秒以上 2.9V まで下がっている状態が続いたら、スマートリポは自動的に OFF になります (過放電を防ぐための動作です)。3.5V のトリル音「ピ・ポ・ピ」が聞こえたら速やかに飛行機を着陸させてスマートリポを充電してください。

● 使用後:

スマートリポのスイッチを切るには充電ポートに付属のジャンパーをかぶせるだけでいいです。